

釧路南ロータリークラブ会報

第33回 例会報告 2023.3.17 通算1920回

・点 鐘 菊地会長

・会長挨拶

・ロータリーソング

「それでこそロータリー」



ソングリーダー 小向 建一会員



昨日釧路ロータリークラブへ幹事とメーカーキャップに行きました。研修リーダー邵さんの講話が興味深かったです。2015年の人口、2020年～2040年の人口の減少の%は釧路では35%～39%程減少するとお話をし、ロータリークラブとしては7分区で90名程いなくなるのではと。このままでは会員数が減少し消滅するのではないかと危機感を持ち2017年から警鐘を鳴らしたが、それが現実近づいてきたのが現状である。

会員数の現状

ロータリークラブ人口としては2022年7月から2023年2月は1189610名です。年度初めからすると16800名でした。日本は84400名いて1800名の増加、北海道は143名の増加。年度初めは2316名で2月は2240名で唯一76名減の状況です。

クラブの歴史について

3つのクラブについて

ロータリークラブ、衛星クラブ、ロータリーアクトクラブの三つがあります。衛星クラブとは、2013年に創設20年に達しなかったクラブのためのオプションとして設立されたもの。既存とは異なる環境で社会奉仕をする機会を提供するのが衛星クラブである。通常のクラブと違うのはトップが議長であり会長ではない。地元のロータリークラブは衛星クラブのスポンサーとして助言等を行います。意見の食い違いがある場合はロータリークラブに従うのが条件になる。20名以上が集まったら新クラブとして申

・結婚祝

小向 建一会員 H17.3.21 (18年目)



請できるが衛星クラブはそのまま衛星クラブでいることも選べる。

クラブのモデルについて。

国際的なクラブ、キャンパス内のクラブなどがある。従来型は会食をしながら交流をしていく。パスポートクラブ一定期間のみ在籍クラブにて参加しその後は海外クラブやオンラインでの参加するもの。今日参加している菊地会長は7年目で会長になったのですが入会して1ヶ月程でハワイに行ってロータリーバッジがどこでも効果があるか試してみたようなのですが。ポケトークを駆使して色々な所に訪ねてみて結果探しきれなかった。翌日ホテルのロビーにハワイロータリークラブの方が「我々を訪ねてきたのはあなたですか？」と逆に訪ねてきて無事コンタクトが取れたということがあったようです。今後もその行動力を地域の為に生かし頑張ってくれればと思います。

と、私の事も話に入れてくれました。

・幹事報告



- * ハイライトよねやま vol276 号が届いております。
- * 5月開催のIM申し込み用の「調整さん」を作成しております。3月25日までに入力をお願いいたします。
- * 本日例会終了後に理事会があります。会場は4階「雅の間」です。

・委員会報告 親睦委員会

- ・本日のニコニコ献金
小向 建一会員 結婚祝として

・本日のプログラム

「水と衛生月間に因んで」

担当 環境青少年委員会

◆佐藤幹事代読



今月は『水と衛生月間』ということで、水のおはなしをさせていただきます。

私たちが暮らすこの日本では常に周りに水が存在しており、水という物質について普段あまり深く考えたことが無い方々が多いことと勝手に思っておりますが、生命を維持するための最も大事な『水』の特長、性質について説明させていただきます。水は「異常液体」と呼ばれている不思議な物質です。水は酸素と水素の化合物で、身の回りでもっとも身近な物質です。そんな水は他の物質とは明らかに異なるいくつもの性質を持っています。自然界の他の物質と比べて特異なものであり、かつ、その性質故に私たちの生活環境において重要な役割を果たしています。

水が凍ると「氷」となりますが、このような個体状態の水である氷は極めて珍しいことに液体状態よりも体積が増加することが知られています。普通の物質は液体が個体になると密度が増すわけですから、液体のときよりも重くなっているはずですが。他の物質ではその考えが当てはまりますが水の場合はこの常識が通用しません。このように個体になると液体よりも体積が増加する物質は「異常液体」と呼ばれており、水の他には「ケイ素」「ゲルマニウム」「ビスマス」のみです。このような現象が起こるのは、異常液体の個体は結晶構造に隙間が多く、分子が自由になる液体状態の方がかえって最密に近くなるためです。

水の中で生まれた生命は、水と深い関りを持って生命を維持しており水なしでは生きられません。

生命を維持するのに大事な水の性質として、ほかの液体と比べ、とても温まりにくいという性質があります。同じ液体であるアルコールなどは水の半分の時間で温まるほどです。

この暖まりにくいという水の性質が、人間の体温が夏でも冬でも一定に保てる理由の一つなのです。

昨今、浄水器・整水器・活水器など様々な器具が世に出回っておりますが、「おいしい水」が出来るのは果たしてどれなのでしょう？

「おいしい水」や「身体にいい水」を求めて、浄水器や整水器、活水器を設置する家庭が増えています。

では、この3つはそれぞれどう違うのでしょうか？

「浄水器」は水を活性炭や逆浸透膜などでろ過することで、残留塩素やカルキ臭、細菌、カビ、トリハロメタンなどの不純物を低減させる装置です。蛇口直結型、据え置き型、水栓一体型、アンダーシンク型、ポット型などの様々なスタイルがあり、JIS規格や一般社団法人浄水器協会によって基準が定められております。

「整水器」は水を電気分解するなど特別な処理を施して水の性質を変える装置です。

アルカリイオン水や電解水（人工的な水素水）などを生成するのに使われます。

「活水器」は磁気や遠赤外線などのエネルギーを利用して、水に特別な機能を与えている装置です。いずれにしても「おいしい水」の嗜好は人によって異なるので、何を選ぶかは人それぞれです。ちなみに自分は飲料水には結構気をつけております。最近では市販のコーヒー、お茶等は控えておりジュース類は全く飲みません。

しかしながら水分はふんだんに摂取しなければ、毒素を排出出来ないのので飲料水は毎日自宅で作って持ち歩いております。また重曹&クエン酸を毎日飲んでおりますが、へたなジュース等を飲むくらいならこちらをお奨め致します。

そして自作水とともに朝晩、「ひえ」と「あわ」を食べています、なんだか健康おたくの様な人間に思われそうですが、とにかく腹が減る、快食快便快尿なのですよ。

我が家にはネコがおり、最近この水を飲んでいますが、やはり良く食べる、快便でたくさん便が出ており排泄後は発狂したように走りまわっております。排泄時の快感によるものと思っております。現在の社会では食材そのものが信用できないもの

ばかりですので、自分はこの水で解毒しようと考えております。

地方自治体が管理する、いわゆる水道水ですが最近では日本全国基準が曖昧で塩素以外にもたくさんの工業用製剤が含まれており、確認のしようもなく私達は否応なしに使用せざるを得ません。対応策としては煮沸や一晚寝かせるなどをして飲料した方が良いと思われれます。

最後に、私の食に関するテーマ 三原則は、

『天然ミネラル塩をふんだんに摂る』

『甘い菓子類は極力摂取しない』

『整えた水を1ℓ以上/日を心掛ける』

これにより、食物の摂取から溜められる毒素排出し、代謝を向上させるようにしております。

そのほかに毎日酒とタバコは嗜んでおりますが、それは私の精神安定剤です。（笑笑）

今回のおはなしは私個人の考えであり、参考にはならなかったかもしれませんが、少しでも気にかかる事柄があったという方がいらしたら、後はご自分で検索してみてください。

『水と衛生月間』についてロータリークラブの主旨とは違ったかもしれませんが、私には世界規模の考えは持てないので身近な話題とさせていただきます。



・次回のプログラム

3月24日（金）

「会員増強例会」12:30～

会場 ANA クラウンプラザホテル+WEB

担当：会員増強委員会

・点 鐘 菊地会長

今週の会報担当：奈良清成会員